

第1章：自社（商品）の特長を抜き出す

まず一番にすべきは、自社や自社商品の特長を抜き出す作業です。ほとんどの場合、この特長を抜き出さずにいきなりチラシを作ろうとします。皆さんがワードやイラストレータなどのソフトを使ってチラシを作る場合、パソコンの前に座って、ソフトを起動して「さあ！チラシを作るぞ！」と頑張るのですがうまく行かないのはこれが原因なのです。

特長を抜き出すコツは【箇条書き】です。

表現したい特長を箇条書きにしてください。この際に注意点があります。皆さんが特長を書き出そうとするとときに余計な装飾語を使ってしまわないようにしなければいけません。あまり多くのことを特長としてしまうと何がなんだかわからなくなってしまいます。シンプルに書き出すことです。

特長を抜き出すための感覚訓練法

似顔絵を書ければ、ポイントを抜き出すことが出来るようになります。似顔絵と聞くと皆さんは難しく考えてしまうかもしれませんが、意外と簡単なんです。絵心が無い人でも似顔絵を描く方法があります。それが【箇条書き】なんですね。

まずは左のようにその人の特長を箇条書きにしてください。誰が見てもわかる特長をズバリと抜き出すんです。書き出す特長の数は3つです。3つということが大きなポイントです。

次にプラスの特長を1つ抜き出します。このプラスというのは雰囲気やイメージ、似顔絵でいけば服装や服の色などにあたります。

そしてその箇条書きにしたことを単純な線にしてください。この際注意点は、描く線を複雑にしないこと。出来る限り単純な線にすること

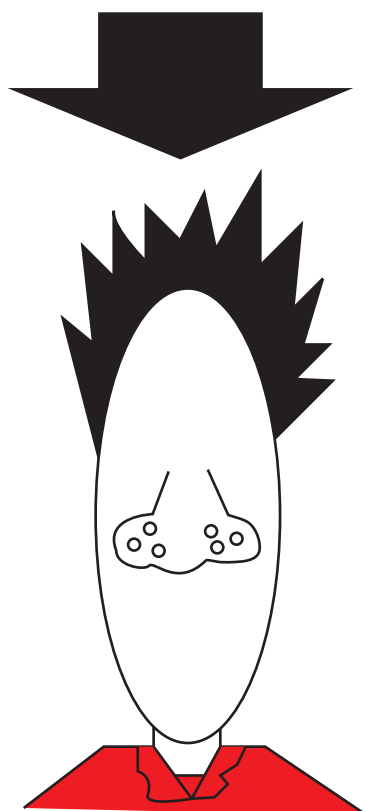
です。似顔絵が似なくなるのは無駄な描き込みをしたり線を複雑にするからなんです。それによってせっかくの特長が薄れてしまいます。

ちなみに目、鼻、口は誰にでもあるものですからあることそのものを特長にする必要はありません。もちろん、鼻にブツブツがあると鼻がでかいなんていうのは特長ですからOKです。

Aさんの特長

- 1 / 顔が長い
- 2 / 髪が立っている
- 3 / 鼻がでかくてブツブツ

/ 赤いシャツ



これがAさんの特長を
単純な線にした場合の例

目鼻口の部品を描き込む

特長を単純な線にしたあとは、目や耳、口、眉毛などの誰にでもある部品を加えます。これはチラシで言うところの地図であったり、電話番号や住所であったりというところですね。なかにはこの部品さえ特長があることがあります。ここをあえてぐっと我慢してあまり特長立てて描き込みしないようにします。ですから箇条書きにすることも【3+】で我慢してください。これによって自社や自社の特長が浮き彫りになってきます。

これが特長を抜き出すための方法です。ぜひ会社の皆さんの似顔絵を描いてみてください。非常に良い訓練になります。コツはうまいヘタではなく、不細工になろうがなんだろうが、特長を出すことなんです。

